令和５年度＜校長室だより＞NO. 6

新中だより

令和５年１２月１３日
新庄市立新庄中学校
TEL　２２－１５５５
文責　永井　康博

人権って何？ 人権が損なわれていませんか？

毎年 12 月 10 日は「人権デー」で、12 月 4 日から 10 日までが「人権週間」、12 月は「人権月間」となっています。人権は、「人が生まれながらに持っている、人間らしく生きられる権利」のことです。人権が保障されていれば、生命が危険にさらされることがなく、生まれや性別などによって差別されず、それぞれが幸福を追求できます。

日本では、日本国憲法 11 条のなかで次のように定めています。「国民は、すべての基本的人権の享有を妨げられない。この憲法が国民に保障する基本的人権は、侵すことのできない永久の権利として、現在及び将来の国民に与へられる。」日本では具体的に、性別や年齢や職業、生まれた場所などに関係なく、すべての人が等しい扱いを受ける「平等権」、自由に考え、選択する権利である「自由権」、人間らしい豊かな生活を送る権利である「社会権」などがあります。

学校における人権教育は、各教科、道徳科、特別活動、総合的な学習の時間のそれぞれの特質に応じ、教育活動全体を通じて行われています。また、本校では、日常の学校生活においても人権が尊重される学校・学級とするように努めています。4 月の職員会議で、生徒一人一人の大切さを強く自覚し、一人の人間として接しなければならないということを全職員で確認しています。生徒の意見をきちんと受けとめて聞くことや明るく丁寧な言葉で声かけを行うことなどを、全職員が心がけています。

学校生活で人権が損なわれていることはないでしょうか。いじめや暴力はもちろん、差別や偏見、からかいや冷やかしも人権を大きく侵害する行為です。知らず知らずのうちに、友達に変なレッテルを貼っていたり、周りの人と一緒になって馬鹿にしたり、無視したり、そんなことはありませんか。この人はふざけて蹴っても大丈夫、この人は SNS で悪口を回されてもしょうがない、などありませんか。今までの自分を振り返り、自分の言動で傷ついている人はいないか、自分の言動で生きづらく思っている人がいないか、ぜひ考えてみてほしいと思います。人権「人が生まれながらに持っている、人間らしく生きられる権利」は、全ての人が等しく持っている権利です。

大谷翔平選手の名言から、力をもらおう

大谷翔平選手の移籍先がドジャースに決定しました。契約金は１０年間で１０１５億円。今までも大リーグでの活躍などからたくさんの勇気や元気をもらいました。今回は、大谷選手の名言から力をもらいたいと思います。

「やれるかやれないかではなくて自分次第」　「怖さ、プレッシャーあっての楽しさ」
「『思い』からどうやってやればいいのかなって生まれてくる」
「（どうやったら身長伸びるんですか？）9 時くらいには絶対寝てたんで、寝るのも好きでしたし、やっぱり睡眠大事」　「（目標などは）思うより書いた方が実行できると思う」
「自分の限界を作りたくない」　「人生が夢を作るんじゃない。夢が人生をつくるんだ」
「成功するとか失敗するとか僕には関係ない。それをやってみる事の方が大事」